

8/29王強

名社世譜調査

各社の世論調査で、岸田内閣の支持率が低迷しています。背景には、マイナンバーカードをめぐるトラブルや、東京電力福島第1原発の汚染水（アルカリ処理水）海洋放棄をめぐる政府の対応への不信があるとみられます。

「読売」の調査（25～27日実施）では、内閣支持率は前回（7月）に続き岸田内閣発足以来最高の35%でした。一方で、岸田文雄首相が指揮力を發揮していくかとの間に、「毎日」

内閣支持率が低迷 マイナカード・汚染水放出で不信

では「発揮していない」と思はない「ない」が77%に上り、「発揮している」と思う「の12%を大幅に上回りました。「読売」でも74%が「思わない」と答えて、「思つ」の17%を大きく引き離しました。

健康保険証を廃止する政府の方針について、「毎日」では「廃止すべきではない」「廃止を延期すべきだ」との回答が合計で66%でした。

福島第一原発の汚染水の海洋放出について

政府と東電の説明が十分だと思つかとの間に、「毎日」では前回から「増の60%が「不十分だ」と答べ、「十分だ」の26%を大さく上回りました。物価高の生活への影響について、「毎日」では「大きい」「ある程度」を合わせて「影響している」との回答が92%に達しました。

「読売」では、家計の負担を「感じている」との回答が「大いに」「多少は」を合わせて99%に上りました。